

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 6 月 26 日現在

機関番号：32677

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25380539

研究課題名(和文) 起業「活動」と起業「態度」の関係性についての地域間比較分析

研究課題名(英文) The relationship between entrepreneurial attitudes and activities among regions in Japan

研究代表者

高橋 德行 (TAKAHASHI, Noriyuki)

武蔵大学・経済学部・教授

研究者番号：60366838

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：日本の地域を、北海道・東北、北関東、首都圏、中部・北陸・甲信越、近畿、中国・四国、九州・沖縄の7地域に分類し、GEMによって得られた1万3,627件のデータを対象に分析を行った。主な調査結果は、日本の地域別に起業態度と起業活動の関係を見ると、国際比較と同様に、日本の中の地域間でも起業活動と起業態度の間に強い相関があることが確認できた。

研究成果の概要(英文)： We divided Japan into 7 regional areas. The number of sample is 13,627. These sample are collected through GEM project. Our main findings are as follows;

Firstly, GEM data shows almost same pattern as Economic Census in terms of the level of entrepreneurial activities among 7 regional areas. Secondly the levels of entrepreneurial activities are different among 7 areas in Japan according to GEM data. Thirdly the difference of entrepreneurial activities are very strongly related to the difference of entrepreneurial attitudes among 7 areas. Before we started this research project we already knew the strong relationship between entrepreneurial activities and entrepreneurial attitudes among international states. This time we found the same pattern among 7 regional areas within Japan. Entrepreneurial attitudes could be very strong factors to explain the difference of entrepreneurial activities.

研究分野：アントレプレナーシップ

キーワード：アントレプレナーシップ 開業率 地域経済 創業 起業 ベンチャー GEM 地域活性化

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 起業活動が地域間で違いがあること、そして起業活動は地域の経済活動と密接な関係があることは、いくつかの調査研究によって明らかにされてきた。しかしながら、その違いがどのような要因によって生じているのかについては、データ等の制約によって、経済成長率や失業率などの経済指標を説明変数としたモデルによるものがほとんどであった。

(2) 起業活動は、伝統的に、どのような経済環境の地域に、より多くの企業が誕生するのかという企業経済学的なアプローチと、どのような人が新しく事業を始めるのかという労働経済学的アプローチの2つによって研究が行われているが、従来は、起業活動の地域間における「違い」は企業経済学的なアプローチによってのみ、分析されていた。

(3) 労働経済学的なアプローチによって、地域間の起業活動の違いを説明しようとする研究が過去になかった。起業活動を人的資源の側面からアプローチするには、労働経済学的なアプローチが不可欠である。

## 2. 研究の目的

(1) 第1には、グローバル・アントレプレナーシップ・モニター(以下、GEM)の調査を使っても、同じ国の異なる地域間において、起業活動の水準が異なるかどうかを調査することである。

(2) 第2には、労働経済学的なアプローチを行う場合の説明変数である起業態度と起業活動の相関関係が、同じ国の中の異なる地域でも存在するかどうかを明らかにすることである。

(3) 第3には、起業態度をいくつかの要因に分類し、かつ属性情報も加えて、どの説明変数が、同じ国の異なる地域間の起業活動に影響を与えているのかを調査することである。

## 3. 研究の方法

(1) 本研究のベースとなるデータは、GEMによって得られるものである。GEMは、米国バブソン大学と英国ロンドン大学が中心になって1999年にスタートしたもので、わが国は初年度から参加し、世界での参加国は60~70カ国に達し、参加国のGDP合計は全世界の9割以上をカバーしている。GEMによって生み出される情報のうち、最も特徴的なものは、「Adult Population Survey(一般成人調査)」(以下、APS)であり、参加国が毎年最低2,000サンプルを集める調査を通して、起業活動の程度の違い、起業活動に対する意識、起業活動の目標、起業支援活動の実態等を明らかにしている。

(2) 本研究を始める前は、2008年から2012年の調査で得られた日本の個票件数は、11,041件であったが、3年間で1万5,654件まで増え、これらのデータ分析が研究の中心であった。

(3) 他に、GEMデータを補完するために、「経済センサス」のデータ分析、そして独自のWEB調査によって収集した3,000件のデータ分析も行った。

(4) 分析手法は、被説明変数を起業活動の水準を表わす指標として、起業態度を構成する要素や属性などを説明変数とする多変量解析やロジスティック分析を中心に研究を進めた。

## 4. 研究成果

(1) 地域を図表1のように分類し、合計1万3,627件のデータを対象に分析を行った(図表1)。ここに2015年のデータが含まれていないのは、2015年のデータが利用できる状態になったのが、2015年度が終わる直前であったことによる。

(2) GEMデータによる起業活動水準(TEA)と経済センサスによる起業活動水準(開業率)を、地域別に比較したところ、九州・沖縄県を除くと、ほぼ、同じような傾向

が見られることを確認できた(図表2)。

(3)日本の地域別に起業活動の水準を比較すると、地域間でその水準が異なっていることが明らかになった(図表3)。

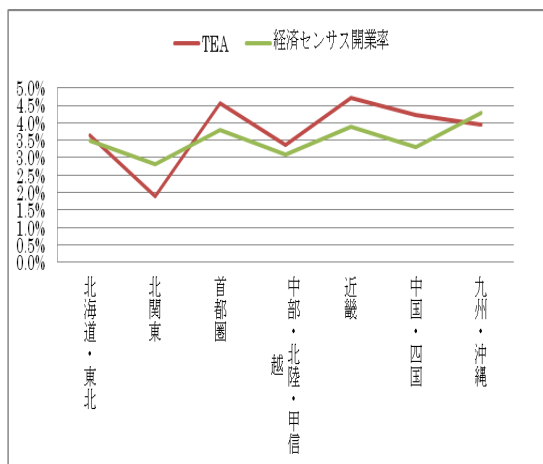
(4)日本の地域別に起業態度と起業活動の関係を見ると、国際比較の結果と同様に、地域間でも起業活動と起業態度の間に強い相関があることが確認できた(図表4、図表5)。

図表1 GEMにおける地域別サンプル数

北海道・東北	1,460
北関東	630
首都圏	4,414
中部・北陸・甲信越	2,524
近畿	2,122
中国・四国	1,111
九州・沖縄	1,366
全国	13,627

資料)グローバル・アントレプレナーシップ・モニター(2008年~2014年)

図表2 GEMと経済センサスによる起業活動水準の比較



資料)図表1に同じ

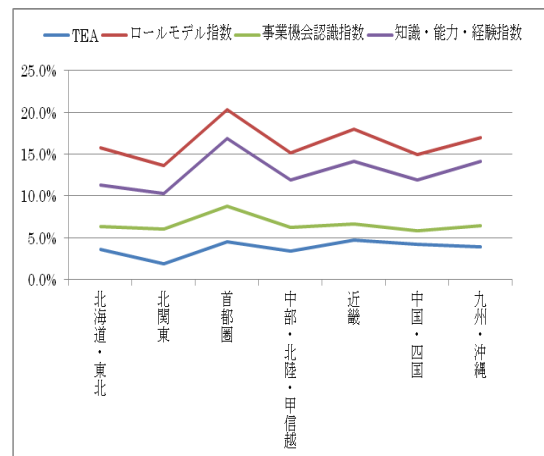
注)1 起業実現率は、(起業計画あり÷TEA)であり、存続起業係数は、成人起業割合がTEAの何倍であるかを表している。

2 TEAは起業活動をしている人の割合、成人企業割合は業歴3年半以上の企業の割合である。

図表3 地域別にみた起業活動

	起業計画あり	TEA	成人企業割合
北海道・東北	5.3%	3.6%	7.8%
北関東	4.5%	1.9%	9.0%
首都圏	7.9%	4.6%	8.8%
中部・北陸・甲信越	4.4%	3.4%	9.4%
近畿	6.4%	4.7%	8.3%
中国・四国	4.9%	4.2%	8.4%
九州・沖縄	5.3%	4.0%	7.6%
全国	6.1%	4.1%	8.6%

図表4 地域別にみた起業活動と起業態度の関係



図表5 TEAと起業態度指数の相関関係

ロールモデル指数	0.203
事業機会認識指数	0.057
知識・能力・経験指数	0.192

注)相関係数は、いずれも、1%水準で有意である

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

安田武彦、起業無縁社会における小規模企業の役割、日本中小企業学会論集、査読有、2016、No35、3-18

鈴木正明、社会的企業は中小企業とどのような関係にあるのか、日本中小企業学会論

集、査読有、No.34、2015、3-15

Yuji Honjo, Why are entrepreneurship levels so low in Japan, Japan and the World Economy, 査読有, No.36, 2015, 88-101

高橋徳行、日本における女性起業家の現状について、JOYO ARC、査読無、No.545, 2015、4-11

Yuji Honjo, Why are entrepreneurship levels so low in Japan, IBRCU Working Paper Series, Institute of Business Research, Chuo University, 査読無, No.23, 2014, 1-21

〔学会発表〕(計4件)

高橋徳行、起業「態度」と起業「活動」、アントレプレナーシップコミュニティ(2016年6月4日)、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリー(大阪府・大阪市)

安田武彦、何故、日本で起業家社会は実現しないのか、日本学術振興会(2015年3月2日)、商工組合中央金庫本店(東京都・中央区)

Noriyuki Takahashi, Entrepreneurial Attitudes and Entrepreneurial Activities, Asia Council for Small Businesses, 2014年10月31日, Seoul(Korea)

本庄裕司、Why are entrepreneurship levels so low in Japan、日本経済学会春季大会(2014年6月14日)、同志社大学(京都府・京都市)

## 6. 研究組織

### (1)研究代表者

高橋 徳行 (TAKAHASHI, Noriyuki)

武蔵大学・経済学部・教授

研究者番号：60366838

### (2)研究分担者

本庄 裕司 (HONJO, Yuji)

中央大学・商学部・教授

研究者番号：00328030

安田 武彦 (YASUDA, Takehiko)

東洋大学・経済部・教授

研究者番号：30303481

鈴木 正明 (SUZUKI, Masaaki)

文教大学・国際学部・教授